平成29年 第472回9月定例会 第473回臨時会 行政報告

岩﨑憲郎 町長

○町道連火線で路側決壊

6月25日に町道連火線の路側が延長16.4メートル、高さ5.0メートルに渡り決壊をし、直ちに通行止めにするとともに早期の復旧に努める準備をしています。

連火災害現場

○穴内川で行方不明者捜索

7月1日(土)午前7時に本山警察庁舎より穴内川において、釣り人が流されたとの連絡を受け、嶺北消防署と大杉分団、東部分団の計63名が出動し、橋の上からの監視や捜索を実施しました。その後、行方不明者についての再確認を実施し、捜索を打ち切りました。

○台風5号、台風18号でタイムラインを運用

避難準備・高齢者等避難開始を発令後、町内全域に避難勧告を発令、7ヵ所の拠点避難所の運営を実施し、避難者数は、台風5号32名、台風18号53名でした。

○大豊町消防団夏季演習操法大会

7月23日(日)に、大杉農村広場において、平成29年度大豊町消防団夏季演習操法大会が開催され、優勝が落合分団落合部、準優勝が大杉分団穴内部、第三位が大田口分団船戸部の結果でした。また、消防団幹部の方を対象に、嶺北森林管理署と四国森林管理局の指導でドローン協定に基づき、ドローン研修を実施しました。

○嶺北消防団連合会夏季合同演習第32回操法大会

8月20日(日)土佐町ふれあい広場において、嶺北消防団連合会夏季合同演習第32回操法大会が開催され、大豊町消防団を代表して、3部が出場しました。結果については、僅差で入賞はできませんでしたが、選手の皆さんは、日ごろの練習を十二分に発揮されていました。

○おおとよブルーベリー収穫祭

8月13日(日)、「ゆとりすとパークおおとよ」で開催されました。

このイベントは、高知大学地域協働学部、西日本高速道路エンジニアリング四国、大豊町で組織した実行委員会により企画立案、準備をしてきたもので、収穫祭当日は、天候にも恵まれ、来園者数は779名を数え、キャンプ・コテージ・RVパークの利用(宿泊)者数を含めると、総計1,000人を超える来園者がありました。

大豊町のブルーベリーの〝すばらしさ〟を多くの人に知ってもらい、町内外の住民交流を深め、大豊町を元気にするという目的のもと、大学生を中心に頑張ってきた成果であると思います。

○集落活動センター「絆の里・いわはら」開所式

9月3日開所式が行われました。過疎・高齢化の進む地域でありますが、住民の「いつまでもこの場所で暮らしたい」「地域のコミュニティを維持したい」との思いが同センター設置に繋がりました。今後は、岩原地区の住民の憩い・集いの場として、また地域の産業振興や各種事業活動やコミュニティの維持を支える場としての活用が期待されます。

「絆の里・いわはら」が設置された岩原老人福祉センターの落成（昭和53年）

○ラフティング世界選手権2017

10月3日(火)から10月9日(月)までの間、大豊町東土居から三好市にかけての吉野川中流域でラフティング世界選手権2017が開催され、22ヵ国、71チーム、522人が参加しています。

本町では、9日(月)の午後に東土居から大砂子までの間でジュニアの部による「ダウンリバー」という競技が開催される予定になっています。

ラフティング世界選手権には、本町から3名が選手として参加しています。

池添修一 教育長

○オーストラリアのヘリベリー カレッジミドルスクール生徒43名が来町

7月2日から5日の3泊4日で来町し、小学校、中学校との交流や文化体験を行いました。ヘリベリー校は幼稚園から高校までの一貫教育を行っている私立校で、今回も日本語を学習している生徒が来町しました。中学校での主な授業交流では、剣道、習字や琴の演奏などを行い児童や生徒たちにとって大変有意義で印象に残る研修ができました。宿泊はホームステイで、34世帯の保護者や一般の方に大変お世話になりました。

○大豊町中学校3年生の海外研修(8月17日～8月27日)

中学校3年生14名が、オーストラリア、ビクトリア州のヘリベリー・カレッジ・ミドルスクールでの授業に参加したり、同校の生徒と交流する一方、5泊6日のホームステイなどで研修を行いました。

今回の海外研修は7回目となり、本年度で111人が研修を行いました。今後、生徒には国際的な視野に立ち、この貴重な体験を自分の将来に活かしていくことを期待しています。

大豊町中学校海外研修

平成29年 第472回定例会 主な質疑

▽前野由和議員

集落活動センターは、将来、県の補助金が無くなるので、自立するには大変苦慮してくると思うが、自発的な住民の方の活動に任すのか、あるいは一定行政が自立支援をするのか。

▽岩﨑憲郎町長

県の補助金の有無に関わらず、地域の活動として受け止め、単に支援だけではなく一緒に汗をかく、行動をする姿勢で取り組んでいく。

集落活動センター「絆の里・いわはら」

三谷幸一郎 議員

台風の備えとしては、早くから避難準備情報、避難勧告等の情報を周知し、賢明な判断だと思うが、避難解除のタイミングを慎重にすべきでは。

▽岩﨑憲郎町長

解除のタイミングは、非常に難しく、判断に困難を極めているが、今回の例も含め、次の災害の際に活かせるように取り組む。

人事案件

教育委員会教育委員の任命

住所　大豊町川口1129番地5

氏名　桒名（くわな）　公平（こうへい）